

2019年9月 19日  
第124号

# 全労連

全労連  
憲法・平和グループ

# 憲法 平和闘争ニュース

各組織の取り組みを紹介します。

## ●東京

**100万筆目標まで残り1万7229筆!!**

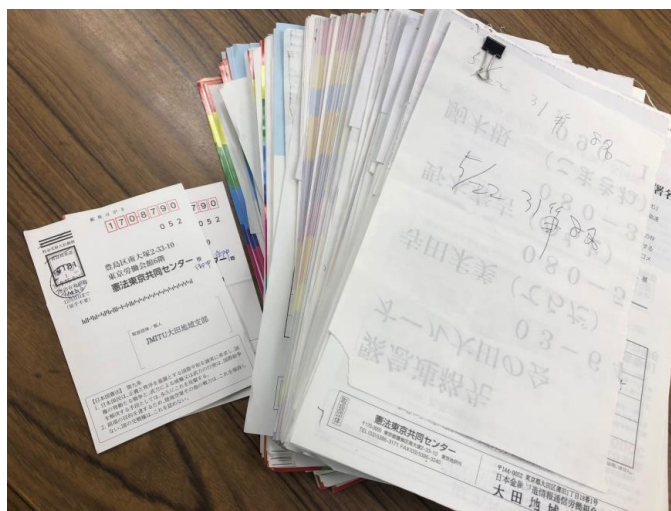
**大会までに達成しよう!**

東京地評は3000万人署名を「各組織で署名集計をやり切り、東京地評定期大会(9/29)までになんとしても目標を達成しましょう」と呼びかけています。9月18日現在の署名到達は98万2771筆となりました。100万筆目標まで残りわずか1万7229筆です。

9月17日には、八王子労連から6筆、墨田労連から4筆、大田労連から9筆の署名ハガキが届きました。三多摩労連からは、郵送で署名16筆が送られてきました。三多摩労連内の事務所をくまなく探したところ、机の中に未集計の署名が見つかったそうです。

また、東京私教連からも郵送で署名7筆が届きました。東京地評100万筆目標達成にむけ、まだ署名していない組合員に急遽署名をお願いし、集めました。

18日には、首都大学東京労働組合からは6筆新たに集めたとの報告が寄せられました。まだ署名していない組合員に急遽署名をお願いし、集めました。また、大田労連から1492筆の署名が届きました。JMITU東京地本からは2筆の署名ハガキが届きました。



## ●福祉保育労

**改憲を阻止し、一刻も早く安倍 政治を終わらせよう**

**定期全国大会で特別決議**

福祉保育労は9月15日、定期全国大会で「改憲を阻止し、一刻も早く安倍 政治を終わらせよう」との特別決議をあげましたので、ご紹介します。

### 【特別決議】改憲を阻止し、一刻も早く安倍政治を終わらせよう

7月の参議院選挙では、「安倍政権のもとでは憲法を変えてほしくない」世論と運動に加えて“市民と野党の共闘”の広がり大きな力となり、自民・公明両党に維新を含めた改憲勢力の議席数3分の2を阻みました。しかし、安倍首相は「少なくとも議論すべきだ」という国民の審判は下った」と強弁しており、まったく改憲をあきらめてはいません。

大会直前の9月11日、台風15号による千葉県への深刻な被災状況がほとんど伝えられないなかで、安倍第4次改造内閣が大きく報道されました。大規模停電で人が亡くなるほどの災害への支援よりも、「党丸一となって」「論議を強く推進する」と改憲の執念を表明した安倍首相の姿勢はどうも認められません。また、安倍第4次改造内閣では、「全世代型社会保障」検討会議を新設して社会保障解体政策をすすめ、公的責任をいっそう後退させようとしています。軍事費は5兆円を超え毎年過去最高を更新する一方で、社会保障費は4兆3千億円も削減してきました。いままぐ147機ものF35戦闘機の購入をやめれば88.6万人分の保育所が整備でき、私たちが切望している「職員配置基準の見直し」も「福祉労働者の処遇改善」の実現も可能です。

ヒロシマとナガサキの平和式典では、世界の人々が求める「核兵器禁止条約」の批准には一切触れず、8月の全国戦没者追悼式では、アジア諸国に対する戦争「加害責任」への反省の言葉は一言もありません。悪化の一途にある韓国との関係では話しあいなき力による外交をすすめています。記憶に新しいところ2013年の「特定秘密保護法」にはじまり、集団的自衛権行使容認の閣議決定や「戦争法」「共謀罪」の強行採決など、立憲主義をないがしろにした国会運営をすすめてきました。もはや安倍政治の継続自体が、人間らしい生活と権利、平和と民主主義への最大の脅威となっています。

一方で、安倍政治と対峙してきた世論や運動は、市民と野党の共闘で全国的な署名や集会を発展させて、安倍改憲の「発議」どころか憲法審査会すら機能させてきませんでした。私たち福祉保育労も「憲法を守り活かす職場宣言」などにとりくんできました。

そしていま、私たちにはこれまで以上の運動が求められています。政治に対して「何もしない」選択は望まない方向に社会を変えてしまいかねません。本気で改憲を阻止し安倍政治を終わらせるために、

○「福祉は権利」「平和こそ最大の福祉」の声をあげ、強く大きく発信していきましょう。○要求をベースにした労働組合らしい政治へのアプローチを豊かに展開していきましょう。○一人ひとりが主権者として、社会と政治に主体的に関わっていきましょう。○“福祉のにない手”として地域で職場で実践で、学びあい対話を広げ「力をひとつに」行動していきましょう。

以上、決議します。

2019年9月15日全国福祉保育労働組合第35回定期全国大会

## ★当面の日程

### ◆総がかり行動「19日行動」

9月19日(木)18時30分～ 国会議員会館前

10月19日(土)15時～ 国会議員会館前

### ◆総がかり行動 臨時国会開会日行動

10月4日(金)12時～ 国会議員会館前

### ◆憲法共同センター第6回総会

9月27日(金)18時～20時30分 全労連会館2階ホール

記念講演 渡辺治一橋大学名誉教授

\*渡辺治氏の講演は18時10分～ 講演については、ご自由に参加いただけます。

<http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/08/20190927soukai.pdf>

### ◆憲法共同センター「自民党改憲4項目徹底批判学習会」

10月7日(月)18時30分～20時15分 全労連会館2階ホール

講師 大江 京子弁護士 (改憲問題対策法律家6団体事務局長)

[http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/09/191007gakusyukai\\_chirashi.pdf](http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/09/191007gakusyukai_chirashi.pdf)

### ◆日米地位協定の抜本改定学習交流集会

主催・安保破棄中央実行委員会 全国革新懇、憲法共同センターが共催

10月22日(火・祝)13時～16時30分 全労連会館2階ホール

講演 布施 祐仁さん ジャーナリスト 「平和新聞」編集長

[http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/09/191022syuukai\\_chirashi.pdf](http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/09/191022syuukai_chirashi.pdf)